

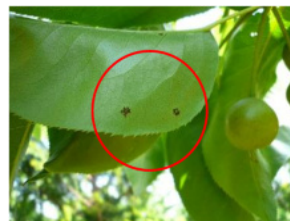
なし栽培者 各位

J A ふくしま未来福島地区本部

なし黒星病対策及び【7月の防除情報】について

☆ 凍霜害の影響により着果量が少ない状況です。今後の降雨により感染拡大が懸念されますので、下記の通り対策をお願いします。

◎黒星病の病斑（写真①）

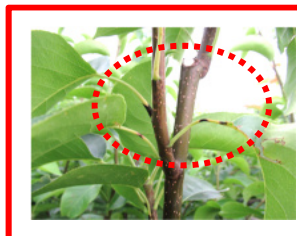


◎病斑発生の注意点

5月から6月にかけて気温も高く推移し、昨年よりも病斑の発生はやや落ち着いていましたが、各園地・樹種において発生も見受けられます。

今後は棚上の予備枝や新梢の伸長部（写真②）にも発病が懸念されるので、併せて確認をお願いします。

◎病斑発生部（写真②）



※ 落葉が多い園地は発生状況の確認をし、感染部がみられましたら早急にせん除をお願いします。また、着果量も少なく、新梢が混んでいる園地は特に発生が懸念されますので、各園地状況の確認をお願いします。

1. 耕種的防除

○果そう基部病斑、発病葉・果実の除去

⇒病斑をそのままにすると二次感染につながります。見つけ次第せん除し、密度低下と二次伝染を防ぎましょう。（病斑は、ビニール袋等に入れて園外に持ち出して下さい。）

伝染源を残したままでは薬剤散布の効果は十分に得られないので、せん除く実施の徹底をお願いします。

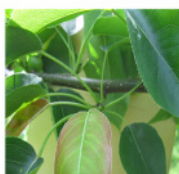
2. 栽培管理

○不要な新梢（下芽、不定芽、予備枝など）のせん除 → 不要な養分の浪費を防ぎ、薬液の通りも良くなります。（写真①、②）

① 予備枝の整理



② 下芽の整理



3. 薬剤散布

薬剤散布は降雨前に実施し、散布ムラのないよう十分な量を心掛けましょう。また、新梢整理を実施し、かかりやすい状態にしてください。

【なし防除情報 7月号】

【 な し 】幸水・豊水・あきづき・秀玉・新高・王秋（防除暦82～83頁）				
散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
12	7/ 6頃	黒 星 病 ・ 輪 紋 病	1. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		※ベルクートは、ル・レクチュにさび果を生じるので、かからないよう注意する。		
特別散布	7/13頃	黒 星 病 ・ 輪 紋 病	1. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		※カメムシ類の発生が多い場合は、合ピレ剤使用可能地域では、MRジョーカー水和剤2,000倍(50g)も使用する。 ※ベルクートは、ル・レクチュにさび果を生じるので、かからないよう注意する。		
特別散布	7月中旬	ハ ダ ニ 類	1. カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc)	300ℓ
13	7/20頃	黒 星 病 シ ン ク イ ム シ 類	合ピレ剤使用可能地域	300ℓ
			1. インダーフロアブル 1万倍 (10cc)	
			2. モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	
			合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)	
		1. インダーフロアブル 1万倍 (10cc)		
		2. ダイアジノン水和剤 1,000倍 (100g)		
※今回以降の散布は、「なつしずく」等の収穫前日数に注意する。※ダイアジノン水和剤(収穫14日前)				
14	7/31頃	シ ン ク イ ム シ 類	合ピレ剤使用可能地域	250ℓ
			1. フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)	
			合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)	
			1. ダイアジノン水和剤 1,000倍 (100g)	
※ダイアジノン水和剤は収穫前14日なので使用には注意する。				

【 な し 】二十世紀・南水等（防除暦 91～92頁参照）				
散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
12	7/ 6頃	黒 星 病 ・ 輪 紋 病	1. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		※ベルクートは、ル・レクチュにさび果を生じるので、かからないよう注意する。		
特別散布	7/13頃	黒 星 病 ・ 輪 紋 病	1. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		※ベルクートは、ル・レクチュにさび果を生じるので、かからないよう注意する。		
特別散布	7月中旬	ハ ダ ニ 類	1. カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc)	300ℓ
13	7/20頃	黒 斑 ・ 黒 星 病 (シンクイムシ・カイガラムシ類)	1. キノドー顆粒水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		※シンクイムシ類やカイガラムシ類の発生が多い場合はダイアジノン水和剤 1,000倍(100g)も使用する。		
14	7/31頃	黒 斑 病 黒 星 病	1. キノドー顆粒水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ

※梅雨時期による感染拡大が懸念されます。そのため、**7月の散布は7日間隔**で案内をさせていただきます。

※管内の一部でカメムシの発生が確認されます。7月中旬頃はナシへの被害が懸念されますので、発生が見られる場合は『**赤ナシ 特別散布 注意事項**』を参考にしてください。

※薬剤散布は使用回数に十分ご注意ください。

※ご不明な点は、各地区指導員へお問い合わせ下さい。

【発信部署：福島地区営農経済課】